

令和5年度 厚岸町立真龍中学校 グランドデザイン

校訓 学校教育目標

自主：自らよく見、深く考えて学び、確かな学力を身に付けられる生徒(深い学び)

自愛：自己を見つめ、思いやる気持ちを持ち、協働できる生徒(対話的)

自省：自己を振り返り、心身共に健康で、主体的に判断できる生徒(主体的)

- 日本国憲法
- 教育基本法
- ・人格の完成
- ・より良い社会の創造、心身共に健康な国民育成
- 北海道総合教育大綱
- ・夢や課題に、新たな発想で挑戦する人
- ・ふるさとを愛し、グローバルな視点で地域の発展のために行動する人
- ・互いの個性や文化の違いを尊重し、ともに力を合わせる人

- 釧路管内キーワード
- ◇子どもたちを誰1人取り残すことのない教育の実現を目指して
- ・子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進
- ・学びの機会を保障し質を高める環境の確立
- ・地域と歩む持続可能な教育の実現

- 北海道教育推進計画
- ・北海道教育の基本理念
- 『自立』
- 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む
- 『共生』
- ふるさとへの誇りと愛情を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む

●厚岸町教育行政執行方針

重点1 「確かな学力の育成」

・個別最適な学び ・協働的な学び ・ICTの積極的活用と授業改善

重点2 「豊かな心の育成」

・道徳の充実 ・体験活動の充実 ・生徒指導の充実

重点3 「健康な身体力の育成」

・健康の維持・体力の向上 ・情報モラル教育の充実 ・食育の充実

重点4 「ふるさと・キャリア教育の推進」

・ふるさと教育 ・キャリア教育

重点5 「学びの保障」

・新型コロナウイルス感染症対策 ・ICTを活用した教育支援 ・職員研修の充実

・特別支援教育の充実 ・防災教育の充実 ・地元高校への支援 ・働き方改革

<目指す学校像>

- 生徒が目標を持ち、主体的に活動する学校
- 保護者や地域と連携し、魅力ある教育活動を創る学校
- 当たり前のことが当たり前に進む学校

<目指す生徒像>

- 主体的に学び、他者との関わりの中で学ぶ生徒
- 誰に対しても思いやりを持ち行動に表せる生徒
- 心身が健康でたくましい生徒
- 自己の生き方を見つめ、より良い生き方を考えられる生徒

<目指す教師像>

- 生徒の思いに寄り添い、生徒と共に歩み続ける教師
- プロとしての矜持を持ち、切磋琢磨し続ける教師
- 教育公務員としての職責を自覚し、法令や規則、服務規律を厳正に遵守する教師

<教育活動の重点>

重点1 「確かな学力」を確実に育成する教育活動の充実

重点2 「豊かな心」を有し内面に根ざした道徳的実践力を自ら育み続ける生徒の育成

重点3 「健康な身体」を育むために自己の健康に留意し、主体的に体力向上を目指す生徒の育成

重点4 学校全体で取り組む、「真龍中学校の特別支援教育」の創造

重点5 「ふるさと教育、キャリア教育の積極的な推進」

重点6 生徒一人一人が生き生きと学ぶ学校の創造

<具体的な取組>

(1) 重点プロジェクト ・2期制移行プロジェクト

・校則(学校生活のきまり)見直しプロジェクト

(2) 評価のスパンを意識し、生徒の姿を通して教育活動の検証を進めていく

(3) 基盤となる学級経営・生徒指導の充実

(4) 「生きる力」を育成するための資質・能力の三つの柱に沿った教育課程の実施

(5) 不断の授業改善の実施

(6) キャリア教育の充実

(7) 個に応じた指導、特別支援教育の充実

(8) 安全・安心が保障され、生徒・保護者・地域から信頼される学校の創造

- 『目的(何のために行うか)』を明確にした上で、『目標(何ができれば良いか)』を生徒と共有し、最適な『手段』を臨機応変に選択することでウェルビーイングの実現を図る